

74.93

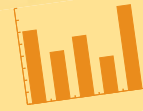
平方キロメートル

面積

西区は市の西部に位置し、区のほぼ中央部を流れている琴似発寒川の扇状地の上に発展した地域です。面積は74.93平方キロメートルで10区中、南区に次いで2番目の広さです。東西に14.0キロメートル、南北に11.4キロメートルの広がりを持ちます。

特集

数値で見る
西区



20万5,077

人

※推計人口(国勢調査ベース)

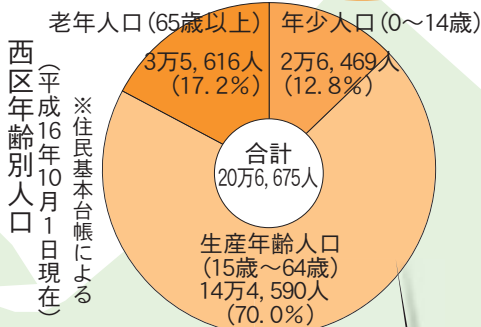
人口

人口は20万5,077人で北・東・豊平区に次いで4番目に多い西区。平均年齢は42.4歳で南区に次いで2番目に高くなっています。平成15年中の人口増加数は924人で、10区中5番目です。
平成16年10月1日現在

わしがお教えしよう。



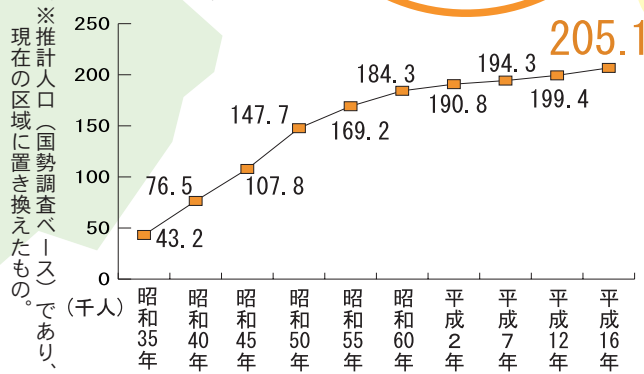
今月号では、知っているようで知らない、西区のさまざまなデータをご紹介します。皆さんの住む西区がどのようなまちか、数値を参考にしてみ直してみましよう。



西区の老年人口は17.2%で南区に次いで2番目に多い。年少人口の割合は全市平均と同じ12.8%。西区が、子どもから、お年寄りまでみんなの住みやすいまちになってほしいものじゃ。



西区の人口推移
(各年10月1日現在)



歴史

50周年

琴似町合併

昭和30年(1955年)、琴似町は札幌市と合併しました(札幌村、篠路村も同時)。平成17年(2005年)は札幌市との合併後、50周年となる節目の年です。

130周年

屯田兵入植

西区は琴似発寒川と左股川を境として、東側一帯と西側の発寒地区が旧琴似町地域、西側の残り一帯が旧手稲町地域となっており、旧琴似町地域の開拓は屯田兵の手により行われました。明治8年(1875年)、北海道で最初の屯田兵198戸が琴似地区に入植。平成17年(2005年)は入植130周年となり、琴似地区では入植130周年を記念したイベントの開催が予定されています。

豆知識

屯田兵屋が北海道遺産に選定されました。

前ページに写真が掲載されている琴似屯田兵屋を含めた北海道各地の屯田兵村と兵屋。これらは、次世代に引き継ぎたい北海道の大切な宝物として、平成十六年、北海道遺産第二回選定分二十七件のうちの一件として選定されました。

